

学校運営協議会議事録

校名	府立金剛高等学校
校長名	大崎 弘司

開催日時	令和8年3月15日(日)10:00～11時30分
開催場所	大阪府立金剛高等学校 2階会議室
出席者(委員)	村上 佳司[桃山学院教育大学 教授] 長谷川 陽一[桃山学院教育大学 教授] 金 和子[とんだばやし国際交流協会] 下阪 善彦[藤陽中学校区地域教育協議会 元会長] 笠松 淳子[富田林市立葛城中学校 校長] 明石 紀子[PTA代表] 大山口 公治[大阪府立金剛高等学校金剛会代表]
出席者(学校)	校長 大崎 弘司 教頭 竹村 有加 事務長 大前 美世 首席 松永 考史 首席 菊地 健太
傍聴者	なし
協議資料	なし
備考	

議題等(次第順)	
<p>1 あいさつ</p> <p>2 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度学校教育自己診断結果について 令和7年度学校経営計画及び学校評価 令和8年度学校経営計画及び学校評価 <p>3 意見交換</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回予定 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>議題1 令和7年度 学校教育自己診断結果について</p> <p>〈概要説明〉</p> <p>生徒・保護者・教職員を対象に、Googleフォームを用いたアンケートを実施。</p> <p>議題2 令和7年度学校経営計画及び学校評価について</p> <p>〈概要説明〉</p> <p>令和7年度学校教育自己診断結果に基づき、令和7年度の学校経営について自己評価を実施。</p> <p>〈主な意見〉</p> <p>《回答数について》</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 回答率(特に教職員)が十分でなく、信頼性向上のため改善が必要。 アンケート結果を「見える化」し、教職員全体で共有・議論する必要がある。 学校満足度に関する項目で生徒の肯定的評価が上昇している点は、学校改革の一定の成果と捉えられる。 <p>《授業環境・授業規律》</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業が静かで集中できるか」の評価が低い点の対策を知りたい。 多様な生徒実態の中での授業運営の難しさを感じる。 <p>学校からの回答、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 厳格な統制よりも、個別の状況を踏まえた対応が求められている。 「なぜ静かにする必要があるのか」を丁寧に説明し、生徒の納得を重視する指導が重要。 授業をまじめに受けている生徒が不利益を被らないような配慮が必要。 <p>《部活動》</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 入部時の動機付けや、部活動の意義を伝える取組の必要性が指摘された。 中学校段階での地域移行の影響もあり、高校としての在り方を再検討する必要がある。 <p>学校からの回答、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率が年々低下傾向。 <p>《人権教育・共生推進教室》</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育の取組が家庭に十分伝わっていない点について、子どもは授業ですごく納得した点については家庭でも話してくれる。 共生推進教室に関する具体的な学習内容や成果を、保護者・地域に分かりやすく発信する必要がある。 メディアリテラシーや多文化共生の視点を含めた人権教育の重要性が指摘された。 <p>学校からの回答、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 共生推進教室は通常の学級生活に溶け込む形で運営している。 行事や日常生活を通した「インクルーシブ教育」を重視している。 <p>《キャリア教育・外部連携》</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 単発で終わらず、振り返りや授業との接続が重要。 成果は短期では見えにくいいため、継続的評価が必要。 <p>学校からの回答、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師(企業・大学・自治体)を招いたキャリア教育を継続実施。 地域課題をテーマにした探究的学習を、大学生の協力を得て実施予定。 <p>《教職員の協力体制・働き方改革》</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員同士の協力体制に課題があるとのアンケート結果。 学校運営の質は、教職員間の連携に大きく左右される。 働き方改革により時間的制約が厳しくなる中、チームとしての働き方が重要。 <p>議題3 令和8年度 学校経営計画について</p> <p>〈概要説明〉</p> <p>基本方針は大きく変更せず、今年度の取組を継続・改善。</p> <p>生徒指導・キャリア教育・地域連携を重点項目とする。</p> <p>委員からの質問、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 数値目標は明確で評価しやすい。 「どう達成するか」という具体策の共有が今後の課題。 アンケート結果の教職員間での再共有と改善策の検討。 保護者向け情報発信の強化(連絡ツールの活用)。 差別防止の観点から、メディアリテラシーを育むことと、地域の外国人に触れさせることを行ってほしい。 	
次回の会議日程	
日時	令和8年7月4日(土) 10時00分～11時30分
会場	大阪府立金剛高等学校 2階会議室